



持久走・縄跳び月間

体育委員担当

1月から始まる縄跳び月間では、個人で短縄を使い、より多くの回数を跳べるように練習したり、新しい跳び方に挑戦したりします。また、各学級で長縄跳びに挑戦し、「連続8の字跳び」に取り組む予定です。縄跳びは、すすんで取り組むことで、体を鍛えることもできます。体力をつけることは病気の予防にも役立ちます。ご家庭でもぜひ取り組んでみてください。

2月から始まる持久走月間では、各学級が体育の時間や休み時間に持久走に取り組みます。一人ひとりが自分の決めた目標に向かって、あきらめずに取り組み、体を動かすことの気持ちよさを味わえるよう指導していきます。走ることはスポーツの基本なので、積極的に楽しみながら走る児童が増えてほしいと思います。

自己調整力

校長 本間 基史

本校の研究主題は「対話を通じた協働的な学び～自己調整しながら学習する児童を目指して～」です。

中央教育審議会は2030年度からの実施を目指し、次期学習指導要領の策定を進めており、論点整理（素案）の中でも自己調整学習が取り上げられています。

変化の速い現代において自己調整が重要になる理由として次のことが挙げられます。

- ・生涯にわたり自ら学び続ける「生きる力」となる。
- ・困難に直面した際、諦めずに解決策を探求できる。
- ・欲求を抑え、状況に応じて適切な行動をとることで、円滑な社会生活を送れるようになる。

そこで自己調整力を育てるために3つの要素に着目して授業改善を図っています。

- ・動機づけ（モチベーション）：学習や目標への意欲、自己効力感など、前向きに学び続けるエネルギー
- ・学習方略（ストラテジー）：目標達成に適した方法を選択し、工夫する力
- ・メタ認知：自分の学びを客観的に見つめ、「何ができていて何が苦手か」を把握し、次に活かす力

具体的な授業のプロセスで言えば、自ら目標を設定し、どう取り組むか見通しを立て、実行中にうまくいかなければ、方法を修正して、授業の振り返りでは、次の学習や行動に改善点を見出すということです。

これが出来れば、学習だけではなく、これからの人生を生きていく上で大きな力となることでしょう。

そこに本校では一人の力だけではなく、対話を通じた協働的な学びを柱にしています。壮大な内容ですが、津久戸小学校の児童なら「自己調整力」が育つと職員一同信じて、研究を進めています。

何か難しそうですが、一番大事なのは授業が楽しいことです。そのための方策でもあります。昨年末にはEXILEのUSAさんにダンスを教えていただき、楽しく身体を動かしました。本年もよろしくお祈りします。

席書会について

席書会担当

新しい年を迎えました。新年に筆をとり、書をしたためることを「書き初め」といいます。その起源は平安時代の宮中行事「吉書の奏（きっしょのそう）」とされています。現代の書き初めは1月2日に行うのが一般的だそうです。

学校では、1・2年生は硬筆、3年生以上は毛筆で席書会を行います。硬筆は、かきかた鉛筆を使って、手本を見ながら書きます。毛筆はだるま筆を使い、力強く書きます。書き初めの練習は、毎年ご指導いただいている宇井芳子先生を招いて、11月頃から行っています。

席書会では、冬休みに練習した分も含め、これまでの練習の成果を発揮してほしいと思います。今年度は1月9日（金）～1月16日（金）の期間で取り組みます。3年生以上の学年は、だるま筆の手入れや墨の補充をお願いします。また、1月26日（月）～1月30日（金）に児童の作品を廊下に展示する校内書き初め展を行います。ぜひ、子供たちが心を込めて書いた作品をご覧ください。

席書会日程

1月	9日（金）	4年1組、4年2組
	13日（火）	5年2組、3年1組、3年2組
	15日（木）	6年1組、6年2組
	16日（金）	5年1組

